

リサイクル援助事業 報告書

平成24年度

アフリカ地域 ケニア共和国 ニャンザ州 ボンド町



寄贈先ケニアのボンド町へ到着した消防車



一般社団法人 日本外交協会

1. 本事業の趣旨：

日本において、救急自動車・消防自動車・塵芥収集車といった特殊用途自動車は、自治体が所有・利用し、一定期間使用された後に更新・処分される。ただし、処分までの間、予備車や訓練車として保管・利用する事が一般的である。一方で自治体では、所有車の管理体制が徹底され、例え処分される車両でも状態が良いものが多い。開発途上国から、特にこのような消防・救急車両が不足している実情のため、ぜひ譲ってほしいという要請が多数寄せられている。

一般社団法人日本外交協会では、各自治体やその消防本部に対して、車両更新予定を調査の上、要請条件に合うものを譲渡していただけるよう、協力を依頼している。譲渡を受けた車両は、引き取り、整備・修理、輸送の手配等を日本外交協会の責任において行い、要請のあった途上国に送り届けることになる。その際には、外務省と協議しながらこの度の寄贈では、整備・輸送の費用はケニア共和国ボンド町が費用を捻出、現地到着後5年程度は役立ててもらえるように整備をして寄贈した。

2. 要請団体：ケニア共和国 ニャンザ州 ボンド町

3. 供出団体と車両：水槽付ポンプ車1台、ダンプ車1台

	ご供出元	メーカー	車台番号	年式
1	吉川松伏消防組合	いすゞ	FRR33G43000536	1997
2	川越市	マツダ	WG3AD101748	1997

4. 実施の経緯

<要請の背景>

ケニア共和国(以下ケニア)は、1963年に英国から独立、赤道直下、南東側はインド洋に面し、遊牧民マサイ族や優秀なマラソン選手などを通じて日本にも馴染みがある国である。

ケニアに限らずアフリカの多くの国では、治安・防災・衛生環境などの整備が乏しく、その充実が喫緊の課題であるが、同国の首都ナイロビを除く地域、特に地方においては水道管そのものがなく、住民は自然の水源から手作業で水を汲み運んで生活している。そのような状況下において、火災などの災害に対処する事は困難を極め、かねてからの課題であった。

ケニアの首都ナイロビから西へ約600km、琵琶湖の約100倍以上もあるビクトリア湖に近い町ボンドは、ケニアでも急成長を続ける自治体の一つである。2012年9月、多くの生徒が通うマランダ学校で発生した建物火災では、火の手が大きく手が付けられず、約70km離れたキスム町へ消防車を要請したものの、悪路などで到着は3時間以上遅れ、住民の懸命なバケツリレーもむなしく学校は全焼してしまっ



ようやく鎮火したマランダ学校の様子。

た。この火災は町全体に大きな衝撃を与え、ボンド町は早急に対策を講じる必要性に直面した。

2012年10月、ボンド町は現地で献身的に医療活動を行うNGOアフリカ児童教育基金の会(Africa Children Education Fundの頭文字、以下ACEF)へ相談・協力を呼びかけ、日本から支援をしてもらう可能性について調査を依頼した。

ACEFは1990年からケニアで活動するNPO法人で、メルー県、エンブ県、ベレー県、ナイロビ県に拠点を持ち、「元気な子供には教育を、病気の子供には薬を」をモットーに、その活動は医療に留まらず多岐に及んでいる。中古車両の寄贈を行っている日本外交協会を知って以来、同団体の施設を始め、活動地域内の自治体や機関におけるニーズについて、日常から相談・協力する関係にあり、ボンド町からの要請についても相談があった。その後詳細に協議・調整した結果、ボンド町の防災体制強化を目的とする消防車1台、また塵芥収集以外にも多目的に活用できるダンプ車1台を寄贈することが決まった。

<整備・輸送について>

車両は当協会選定の整備工場にて、いわゆる法定12か月点検に準じるオーバーホールを行った。車両の内部点検・整備、消耗部品の交換、外装は板金・塗装を施して磨き上げ、当協会の立会いのもとで仕上げている。車両正面左側には、両国の友好関係を願ってクロスした国旗ステッカーを貼り付けた。

(自治体に関する文字やロゴは全て剥がし済み)

<現地での様子について>

車両2台は現地到着後、ACEF立会を通じてボンド町へ引き渡された。

5. 要請から実施までの流れ

平成 24 年	9月	マランダ学校の火災 ボンド町からACEFへ協力要請
	10月	ACEFから日本外交協会へ相談 日本外交協会とボンド町で連絡開始
	11～12月	寄贈方針確定、車両選定、整備・輸送費の見積もりなど
平成 25 年	1月～3月	ケニア側内部調整・書類作成、輸入許可取得など
	4月	車両2台の整備開始
	4月26日	横浜港を出港
	5月16日	ケニア国モンバサ港到着

— 別添資料 —

- ・【国旗】ケニア共和国
- ・【地図】ケニア共和国
- ・ケニア共和国 基本情報
- ・受領書(英文)
- ・受領書(英文和訳)
- ・写真：現地での様子(引渡し)

【国旗】



【地図】



(出典：外務省 HP、基本情報は抜粋)

ケニア共和国 基本情報

面積	58.3 万平方キロメートル(日本の約 1.5 倍)
人口	約 4,318 万人(2012 年:世銀)
首都	ナイロビ(約 310 万人 2009 年:ケニア統計局)
民族	キクユ人、ルヒヤ人、カレンジン人、ルオ人等
言語	スワヒリ語、英語
宗教	伝統宗教、キリスト教、イスラム教
主要産業	(農)コーヒー、紅茶、園芸作物、サイザル麻、綿花、とうもろこし、除虫菊 (工)食品加工、ビール、タバコ、セメント、石油製品、砂糖 (鉱)ソーダ灰、ほたる石
GNI	約 540 億ドル(2012 年度、IMF 推定)
一人当たり GDP	860 米ドル(2012 年:世銀)
日本の援助	(1)有償資金協力 2,708.22 億円(2011 年度まで、E/N ベース) (2)無償資金協力 1,261.60 億円(2011 年度まで、E/N ベース) (3)技術協力 1,012.80 億円(2011 年度まで、JICA 経費ベース)
援助実績 (百万ドル) (OECD-DAC 加盟国)	(1)米国(817.8) (2)英国(161.3) (3)ドイツ(157.0) (4)日本(132.07) (5)フランス(89.9)
在留邦人数	749 人(2012 年 10 月現在)
在日当該国人数	525 人(2013 年 6 月現在)

**COUNTY GOVERNMENT OF SIAYA,
BONDO SUB-COUNTY,
P.O. BOX 294 - 40601,
BONDO.**

Our Ref: BTC/ADM/46/TENRIKYO/VOL.1 (72)

Date: 18TH July, 2013

THE PRESIDENT,
THE SOCIETY FOR PROMOTION OF JAPANESE DIPLOMACY,
TOKYO, JAPAN.

Dear Sir,

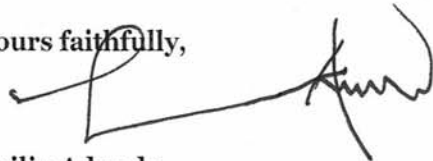
**GRATITUDE FOR THE DONATION OF FIRE FIGHTING ENGINE AND GARBAGE
COLLECTION TRUCK.**

On behalf of Bondo sub-county and the residence of Bondo town may I take this opportunity to express our heartfelt and most sincere appreciation for the donation of two vehicles your organization made to our Town. It is our hope that the equipment shall enable us address the shortcoming we have always faced as we stated in our request letter.

It was with great joy that the town council of Bondo received your good gesture and cooperation, we are looking forward to continuing with this partnership.

Kindly accept our distinguished salutation.

Yours faithfully,



**Philip Adundo
SUB-COUNTY MANAGER**

受領書 (英文和訳)

P. O. BOX294-40601
シアヤ県ボンド町

2013年 7月 18日

一般社団法人日本外交協会
理事長 池浦 泰宏 様

謹啓

消防車と塵芥収集車（ダンプ車）寄贈への御礼

ボンド町とボンド町民を代表し、貴協会より寄贈頂きました車両2台について心からの親愛を込めて感謝申し上げます。頂いた2台は要請時にご説明しましたような、ボンド町における様々な問題解決に役立てていきたいと思っております。

日本の皆さまから、貴協会を通じてご厚意・ご支援を頂きました事はたいへん喜ばしく、今後とも変わらぬパートナーシップを築いていかれますようお願い申し上げます。

私共の格別の謝意をお受け取り下さい。

ボンド町長
フィリップ アダンド